

牧野陽子

(まぎのようこ)



略歴

一九五三年、東京都生まれ。東京大学教養学部教養学科イギリス科卒業。同大学大学院人文科学研究科比較文学比較文化専攻博士課程修了。博士(学術)。現在、成城大学経済学部教授。『へ時』をつなぐ言葉』は、二〇一二年、第十一回島田謹二記念学藝賞も受賞。著書はほかに、『ラファディオ・ハーン——異文化体験の果てに』、『講座小泉八雲Ⅰ・Ⅱ』(共編)。

〈受賞のことば〉

このたびは伝統ある角川源義賞という栄誉を賜り、まことに有難うございました。角川文化振興財団および選考委員の先生方に深く御礼申し上げます。錚々たる歴代受賞者の末席に名を連ねさせて頂けることに、驚き、感激し、緊張しております。

ラファディオ・ハーン の作品に出会ったのは子供の時、ドイツにいた頃でした。日本文学紹介の行事で映画の『怪談』をみて、その不思議な魅力が心に残りました。その後、比較文学比較文化研究の大学院で外国人の日本発見という観点から作品を読み始めましたが、それは私自身の日本再発見でもありました。そしてハーンが特に日本の民話伝説に心惹かれ、再話をしたことの意味について考えるようになりました。日本古来の感性とハーン の想像力が新たに放つ魅力ばかりでなく、再話が文学の根源的な営みとしてなされていることにも感じ入ったのです。再話、つまり人々の思いの積み重ねとしての過去の〈へ時〉を受けとめて、未来につないでいく大切さを、今、いっそう強く感じております。

この受賞に感謝し、励みとして、さらに努力を重ねて参りたいと存じます。